

	項 目	状 態
身 体	麻 痺	右上下肢不全麻痺
	関 節 の 動 き	右上肢可動域に制限がある
	褥 瘡 の 有 無	仙骨部に発赤、皮膚は乾燥傾向
	視 力	白内障と診断され、現在は手術を検討している
	聴 力	普通
動 作	寝 返 り	できる
	起 き 上 が り	介助によりできる
	立 ち 上 が り	介助により立ち上がりが可能だが、膝折れや右への傾きがある
	座 位 保 持	背もたれがあればできる
	立 位 保 持	手すりと介助者の支えがあれば1分程度可能
	歩 行	できない
	移 乗	介助があればなんとかできる。(スライディングボード使用)
	移 動	車いす 左足(健側)を使い、短距離であれば自走可能である
食 事	食 事 行 為	自力摂取(自助具使用)
	水 分 の 状 況	トロミを使用
	嚥 下 の 状 況	トロミを使用
排 泄	排 泄 行 為	日中は、希望時トイレ案内(間に合わずに失禁することがある) 夜間は、おむつ交換
	尿 意	あり
	便 意	あり
整 容	洗 面 行 為	左手で行う
	体 を 洗 う 行 為	手の届く範囲は洗うことができる
	口 腔 ケ ア	上下部分義歯。義歯をはめる、外す行為は可能である 自歯は歯ブラシを渡せば、磨くことができる。うがいはある
	洗 髪	介助が必要
	整 髪	ブラシを渡せば自分でできる
	爪 切 り	介助が必要
	衣 類 着 脱	協力動作はある
コミュニケーション	日常の意志決定	日常は簡単な意思決定能力は可能、自分で判断できない事は家族と相談
	指 示 へ の 反 応	長い話しや複雑な話は、理解ができないときがある
	記 憶 ・ 理 解	年相応の物忘れはあるが、見守り、言葉かけで保たれている
	意 志 の 伝 達	言葉が出にくくなっているが、単語による意志の伝達はできる

	項 目	状 態
調 理	献 立	できない
	切 る	できない
	炒 め る ・ 煮 る	できない
	味 付 け	できない
	盛 り 付 け	できない
洗 濯	洗 う	できない
	干 す	できない
	た た む	タオルやハンカチなどは、時間はかかるが可能である
	片 付 け る	できない
買 い 物	品 物 選 び	家族と相談しながら、希望を伝えることができる
	支 払 い	できない
	購入品の片づけ	できない
掃 除	掃 く	できない
	拭 く	できない
	整 理 整 頓	できない
縫 物 補 修	糸 通 し	できない
	縫 う	できない
	修 復	できない
	針 の 管 理	できない
金 銭 管 理	日常の金銭管理	できない
	通 帳 管 理	できない
	支 払 い	できない
電 話	掛 け る	登録済みの家族・知人には電話できるが、電話帳の操作や新しい相手への発信は困難である
	出 る	できる
通 院	受 診	付き添いが必要である
	処 方 箋	全介助

事例の概要

① 基本情報

氏 名	浜松 静子 様
生 年 月 日	昭和23年 7 月 7 日 （77歳）
性 別	女性
要 介 護 度	要介護3
障害高齢者自立度	B2
認知症高齢者自立度	Ⅱ a

② 生活状況

静岡市生まれ。5 人兄弟の長女として育ち、幼い頃から弟妹の母親代わりとして面倒をみていた。地元の女学校卒業後は、市内の会社に勤め、25 歳で 2 歳年上の夫と結婚。専業主婦として長男、長女を育てた。長女の中学卒業を機に生命保険会社へ就職し、生来の社交的な性格を活かして、セールスレディとして活躍した。若い頃から、近隣や職場での人間関係は良好で、多くの人に慕われていた。65 歳で退職した後は、市内に住む長男、長女の子どもの世話を引き受けた。手先が器用で、孫たちと工作や手芸を楽しむほか、市主催の介護予防体操教室への参加、家庭菜園・庭いじりなど、活動的な生活を送っていた。75 歳の時に市の健康診断で高血圧症と診断されたが、自覚症状がなく、未受診のまま経過したが、この頃から視力の低下は自覚し始めていた。77 歳の時に庭先で倒れ、救急搬送され、脳梗塞にて入院となった。後遺症として、右上下肢麻痺と軽度の言語障害が残った。介護保険を新規申請し、回復期病棟でのリハビリを経て、介護老人保健施設に入所した。約3ヶ月間のリハビリを行い、自宅環境が整ったため、令和 8 年 4 月上旬に自宅へ戻ることができた。

③ 健康状態等

高血圧症。脳梗塞の後遺症により右半身麻痺。軽度の言語障害がある。
入院加療中に白内障と診断される。今後手術を検討している。

④ 趣味・好む活動

手工芸・庭いじり・家庭菜園（発症前）

現在も手工芸への関心は高いが、右手が思うように動かないため、「前みたいにできない」と話されることがある。

⑤ 家族構成

夫と二人暮らし。同市内に長男・長女夫婦と孫3人。

⑥ 使用福祉用具

介護用ベッド・L 字バー・車椅子（跳ね上げ式）・玄関スロープ・スライディングボード

⑦ サービス利用状況

在宅（福祉用具貸与、デイサービス：週 3 回）

介護保険認定期間 令和8年 2 月1日～令和9年1月31日

⑧ 最近の様子

脳梗塞発症後は、「ちゃんと病院に行っていれば」「もう何もできない」といった後悔や喪失感が見られ、軽度の言語障害に伴うストレスから口数が減り、リハビリを拒否する場面もあった。夫、長男、長女の継続的な支援により、現状受容は徐々に進んでいるが、感情の不安定さは残存している。

退院直後は、介護負担への罪悪感や外出前の強い不安・拒否が見られたが、現在では、生活リズムが安定し、拒否や極端な落ち込みの頻度は軽減している。デイサービスでは、同年代の利用者との交流が生まれ、対人関係が少しずつ広がっている。手工芸の創作活動では、自発的な参加意欲が見られ、仲間と協力しながら、作品作りに取り組んでいる。以前と比べて、意欲的な姿が見られるようになってきている。

課題について

「移動・移乗」部門

静子さんは入浴後、ベッドで横になり休まれています。
まもなく昼食時間になるので、車いすへ移乗してください。

「レクリエーション」部門

昼食を終えた静子さんは、同席者(2名)と雑談をしています。
午後のレクリエーションを行ってください。

※テーブル等の配置は移動可能です。

※同席者の方は、軽度の認知症状はあるが、自立しています。